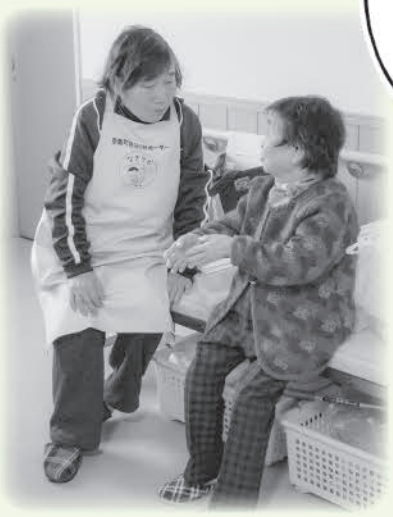
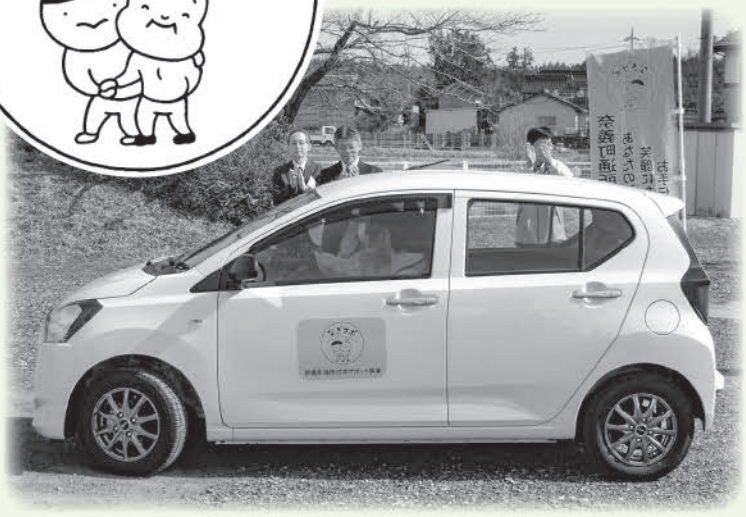
社協マーク
なぎ社協だより
No.87
2019年4月1日 発行

通所付添サポート事業(通称:なぎサポ)で「入浴通所サービス」支援を開始





本年度、町委託事業で実施しています「通所付添サポート事業(通称:なぎサポ)」として、つくし園の風呂を利用した「入浴通所サービス」の支援を開始し、2月25日に出発式を行いました。

独居等の理由で自宅において入浴が困難な高齢者が安心して入浴できるように、通所付添サポーター2人1組でつくし園に送迎(運転・付添)し、見守りサポーターが入浴見守りを行うものです。

3月18日に開催された理事会と3月27日に開催された評議員会において、平成31年度奈義町社会福祉協議会事業計画及び収入支出予算が慎重に審議され、承認されましたので、その概要をお知らせします。

平成31年度奈義町社会福祉協議会活動方針

奈義町社会福祉協議会では、地域福祉の推進を使命として、町民主体の基本理念に基づき、地域住民、ボランティア、福祉委員、民生委員・児童委員、保健、福祉、医療、介護、行政などの関係機関とより一層連携を図りながら、「住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる地域社会の実現」を目指した活動を推進していきます。

平成31年度は、奈義町社会福祉協議会地域福祉活動計画の初年度となり、計画に基づき、これまでの各種事業の実施に加え、更なる地域福祉活動の推進を図る取り組みを行ってまいります。

平成31年度奈義町社会福祉協議会予算

● 社会福祉事業会計（一般会計）

（単位：円）

収入	
項目	金額
会費	3,900,000
寄附金	2,100,000
経常経費町補助金	21,950,000
町受託金	14,480,000
県受託金	573,000
事業収入	2,205,000
共同募金	900,000
受取利息配当金収入	22,000
雑収入	20,000
前期末支払資金残高	3,500,000
収入合計	**49,650,000**

支出	
項目	金額
法人運営事業費	10,589,000
一般福祉事業費	6,126,000
高齢者一般福祉事業費	3,700,000
さと丸バス等運行事業費	7,790,000
介護予防施設管理運営事業費	14,500,000
地域・包括支援事業費	5,462,000
予備費	1,483,000
支出合計	**49,650,000**

奈義町地域福祉活動計画策定委員会

社会福祉協議会で、12月11日、2月12日の2回、奈義町地域福祉活動計画策定委員会を開催し、計画(案)に対する意見交換や検討を行いました。

地区単位の「小地域ケア会議」で高齢者ばかりでなく障がい者や子どものことまでの課題を検討しその解決策を考えていくシステムの構築や、災害ボランティアの取り組みの必要性、障がい児(者)の「通いの場」までの足の確保の必要性など計画策定に向けて積極的な意見がでました。

奈義町地域福祉活動計画を策定しました!

なぎ住民ふくしの地域元気プラン

～住民参加で、我が事・丸ごと・たすけ愛～

① 基本理念

住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる町づくり

人生の最期まで、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けていくためには、住民同士がふれあい、お互いに心と心を通わせあい、支え合っていくことのできる豊かな人間関係を地域社会の中に築いていくことが大切です。そのような地域社会の実現を目指して、地域福祉活動の基盤整備に取り組んでいきます。

② 基本目標

計画では、基本理念の実現に向けて、３つの基本目標を設定しました。

基本目標Ⅰ　お互いに助け合い、支え合う地域づくり

地域で安心して生活していくためには、声かけや見守りなどの住民同士の助け合いや支え合い活動が必要不可欠となります。そこで、地域においての交流や意識高揚につながる機会を増やすことで、人と人とのつながりを強め、誰もが自分らしく地域の一員となって活動に関われる環境を目指します。

基本目標Ⅱ　誰もが安心して福祉サービスを受けられる地域づくり

困ったときに、気軽に相談できる体制を充実し、多様な福祉サービスを提供します。また、福祉のことを誰もがよく知ることができるように、情報提供を充実し、わかりやすく工夫し発信します。

基本目標Ⅲ　地域で安心して暮らすための基盤づくり

核家族やライフスタイルの変化により、家族、地域機能の希薄化や困りごとの多様化・複雑化がすすんでいます。こうした困りごとに対して一面からの支援をするのではなく、地域の関係機関・団体間の連携を深めます。そのためにも、社会福祉協議会の活動強化を図ります。

奈義町社会福祉協議会会費納入のお礼

平成30年度奈義町社会福祉協議会会費につきましては、一般会員・特別会員・賛助会員の皆様に多くのあたたかいご支援をいただきありがとうございました。

また、福祉委員の皆様には地区内での集金等、お忙しい中大変お世話になりました。

社協会費は、法人運営のほか、地域福祉活動・長寿万歳事業など皆様の身近なところで行われている福祉活動や、町内で活動されている各福祉活動団体への助成のための貴重な資金となっております。

今後も、ささえあいのまちづくり、豊かなくらしの実現のため、引き続き皆様のご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

一般会費	2,604,000円
特別会費	1,213,000円
賛助会費	112,000円
合　計	3,929,000円

赤い羽根共同募金運動へご協力ありがとうございました！

平成30年10月から行われました「赤い羽根共同募金運動」では、皆様からのご支援ご協力により、多くの募金が集まり無事終了しました。今年度お寄せいただいた募金は、県共同募金会を通じて、来年度に配分され地域福祉活動へ役立てられます。大変ありがとうございました。

平成30年度 募金実績額

1,065,381円

・戸別募金　・法人募金
・職域募金　・その他募金

平成30年度 奈義町社協への配分額

980,000円

・各地区地域福祉活動への助成　・町老人クラブ連合会活動への助成
・各種団体活動への助成　・社協だよりの発行

社協役員（理事・監事）の異動について

理事・監事に異動がありましたのでご紹介します。（敬称略）

■理　事	新　任	森藤　文典	退　任	有元　　清
■理　事	新　任	岡　　親佐	退　任	岡部　英生
■監　事	新　任	小阪　四郎	退　任	岡　　立

事務局職員の異動について

事務局職員に異動がありましたのでご紹介します。

■新　任	事務局長	延安　照夫	次　長	岡本　健史（生涯学習課から）
■異　動	次　長	松岡　誠志（津山圏域資源循環施設組合へ）		
■3月31日付退職	事務局長	森藤　文典		
	運転員	二宮　將浩	運転員	市川　　厚

～みんな　つながって　ばっちり　ちいきでまもる～

奈義町生活支援サポートセンター「みつばち」をご利用ください！！

高齢者の方々が地域の中で安心して暮らしていけるように、生活支援サポーターが簡単な家事等の援助を行います。遠慮なくご利用ください。

支援内容
部屋の掃除・衣類の洗濯・買い物・窓ふき・ゴミの分別やゴミ出し
庭の草取り・食事の準備・片づけ・話し相手　など

依頼会員：奈義町在住で、簡単な家事等の援助が必要な高齢者の方
提供会員：生活支援サポーター養成講座を修了されたサポーターの皆さん（有償ボランティア）
利 用 料：基本料金　1時間　500円（30分以内 250円）
依 頼 先：電話36－6363（奈義町社会福祉協議会）
携帯090－4803－3281（みつばち）

一人暮らしの方のゴミ出しや窓ふきなど喜んでいただいています。

みつばち交流会

3月12日、保健相談センターで奈義町生活支援サポートセンターみつばち交流会を開催しました。

事務局の最近の活動状況報告やなぎサポの紹介の後、美作大学生活科学部社会福祉学科教授の堀川涼子先生に、「無理のない、自分みがきの支え合い活動」と題してお話をしていただきました。

高齢者が社会貢献活動に参加するための条件は「一緒に活動する仲間がいること」が40．3％で仲間さえいれば、社会貢献活動に参加しようとする高齢者が増え、自分自身の生きがいにつながる、「みつばちの活動は奈義町の宝」ですと励ましていただきました。

地域サロン等運営ボランティア研修会

2月26日、保健相談センターで地域サロン等運営ボランティア研修会を開催しました。

現在、町内の全地区で地域サロンが開催されています。研修会では各サロンから「3分で！おらがサロンのプチ自慢」というテーマで活動報告をした後、ちょいワルな同窓会で上映された「奈義町の懐かしい昭和の写真」を見ました。

懐かしく楽しいひと時になり、早速自分達のサロンでも上映したいという声が上がっていました。

勝田郡老人クラブ連合会指導者研修会

3月6日、勝央町公民館において、平成30年度勝田郡老人クラブ連合会指導者研修会が開催され、勝央町、奈義町から多くの方が参加されました。

研修では、「上手な病院の使い方」と題して、さとう記念病院地域医療連携室長の大田真一さんにご講演いただきました。

講演では、次のようなお話があり、参加者の皆さんは興味深く聞いておられました。

- かかりつけ医を持つことで比較的待ち時間が短縮できたり、長い間同じ先生に診てもらうことでの安心感につながるなどの様々なメリットがある。
- 受診する前に電話で問い合わせることでスムーズな受診につながる。
- ジェネリック薬品は同等であって同一のものではないため、医師や薬剤師の説明を十分聞き使う使わないを決める。
- 物忘れが気になってきたら、精神科は予約が取りにくいこともあり、まずはかかりつけ医に相談する。

勝英二郡身体障害者福祉協会囲碁ボール大会

3月1日、保健相談センターにおいて、勝英二郡身体障害者福祉協会囲碁ボール大会が開催されました。

当日は勝央町、奈義町、西粟倉村から各2チーム、総勢26名の参加があり、白熱した試合が繰り広げられ、次のとおりの結果となりました。

優　勝　西粟倉Aチーム
準優勝　西粟倉Bチーム
第3位　勝　央Bチーム

囲碁ボールセットは、町こども・長寿課に貸出し用もありますので、各地区のサロンや老人クラブなどでも利用されてみてはいかがでしょうか。

奈義町ボランティア会

3月23日、文化センターで、平成30年度奈義町ボランティア会総会を開催しました。

平成30年度事業報告などの総会事業の後、各支部ごとのなぎみ苑での「ふれあいボランティア活動」について報告しました。入所者の皆さんとお手玉や紙芝居をした様子や昔話に花が咲いたりしたという活動報告となりました。その後、鈴木若代さん(広岡)に楽しいリズム遊びを教えていただき、脳と体の活性化を図りました。笑顔があふれた総会でした。

認知症にやさしい町づくり講座

第1回 3月8日、文化センターで「認知症にやさしい町づくり講座が開かれました。希望ヶ丘ホスピタル病院長　引地　充先生に認知症は怖くない、老衰の一つと思って穏やかに機能が低下していく認知症を目指そうとの、興味深いお話を聞きました。

第2回 3月18日、保健相談センターで奈義町キャラバンメイトによる寸劇を取り入れた、認知症の方との穏やかな接し方を学びました。

認知症は温かい交流を増やすことで、トラブルなく安心して地域で暮らせる病気です。奈義町を認知症にやさしい町にしていきましょう。

福祉講演会開催のお知らせ

社協では、お互いに助け合い、支え合う地域づくりをめざし、地域福祉の意識の醸成を図るため、福祉講演会を開催します。

今回は、平成30年７月豪雨や全国各地で相次ぐ地震発生による災害への備えに対する関心の高まりを受け、私たちの地域でふだんからできることについて学ぶ場にしたいと思います。

日　時　**平成31年4月20日(土)　午前10時～お昼12時**
場　所　**奈義町文化センター**
演　題　**「被災地から学ぶ　災害に備えたふだんからの地域づくり」**

講師：日野ボランティア・ネットワーク
鳥取県自主防災活動アドバイザー　**森本 智喜** 氏

平成12年鳥取県西部地震の際、災害ボランティアセンターの立ち上げと運営に関わる。
以後、地震・豪雨など様々な災害現場で被災者支援活動及び災害ボランティアセンター運営支援活動に従事している。平成28年鳥取県中部地震では自ら被災者となった経験を持つ。
平素は、鳥取県日野町において被災後の中山間地の見守り活動のほか、各地での住民主体の安心・安全の地域づくりのサポート等を行っている。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

http://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険　検索

保険金額

保険金の種類＼プラン		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）	1,400万円（限度額）
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金 入院中の手術	65,000円	100,000円
	手術保険金 外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ	
	葬祭費用保険金（特定感染症）	300万円（限度額）	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	

年間保険料（1名あたり）

タイプ＼プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ（※）（基本タイプ+地震・噴火・津波）	500円	710円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

（※）天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが（天災危険担保特約条項）、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）
送迎サービス補償（傷害保険）
福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）

取扱代理店　株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667　FAX：03（3581）4763
営業時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK18-13568　2019.1.16作成〉

ご寄付ありがとうございました

社会福祉協議会へ
平成30年11月16日～平成31年３月15日

金一封（敬称は省略させていただきました）

香典返しとして

小　坂・有　元　聖　司（亡父・富雄）
上町川・中　井　正　和（亡父・昌明）
　柿　・長　尾　隆　大（亡母・さなゑ）
　柿　・曽　根　昌　孝（亡祖母・須磨子）
津山市・上　村　憲　司（亡義母・桑田辰子）
　柿　・國　富　克　己（亡妻・勝美）
広　岡・福　永　洋　介（亡父・茂樹）
滝　本・岡　田　利　幸（亡母・ユキ子）
広　岡・粟　井　義　徳（亡父・忠義）
豊　沢・藤　安　好　泰（亡母・房子）
豊　沢・瀬　戸　芳　孝（亡母・靜江）
広　岡・奥　　清　野（亡夫・篤）
中島東・中　村　尚　美（亡父・忠臣）
小　坂・有　元　征　生（亡母・朝枝）

米寿祝い返しとして

馬　桑・延　原　信　行
上町川・浅　野　郁　子
小　坂・延　原　町　子
高　円・西　田　義　雄

社会福祉のために

上町川・浅　野　克　己
奈義中学校第３期卒業生
さと丸バス・ドアツードア利用者の皆様
勝央町勝間田　勝英農業共済事務組合

社会福祉事業（善意の基金として）

柿　・柴　田　　守

「ヤクルト愛の車いす」を寄贈いただきました。

１月31日、「平成30年度第45回ヤクルト・チャリティーセール」の収益金により、津山ヤクルト販売株式会社様より車いすを寄贈いただきました。

寄贈いただいた車いすは、介護用品としての貸出や、小中学校の福祉体験学習など、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

平成31年度　心配ごと相談開催日のお知らせ

あわせて行政・悩みごと・教育相談が開催され、人権擁護委員・行政相談委員・民生児童委員・教育相談員が皆様のご相談をお受けします。

平成31年	4月19日(金)　5月21日(火)　6月20日(木)　7月18日(木)　8月20日(火) 9月19日(木)　10月18日(金)　11月20日(水)　12月20日(金)

●時　間　午前10時～午後3時まで　　●場　所　奈義町文化センター

編集・発行／社会福祉法人 奈義町社会福祉協議会　〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢507-2 ☎(0868)36-6363
ホームページ　http://www.nagishakyo.jp/